

福田区自主防災会 防災町歩きチェック項目

【防災マップにより地点毎の情報を参加者で共有する】

- 自分の家の危険度を知ることが避難をすることの動機付けとなることに期待して取り組む

1	地点毎に隣保内の浸水深をチェックし、それぞれの住宅がどの位まで浸水するかを確認する。	
2	土砂災害警戒区域の範囲を確認する。	
3	地域のどこが高くどこが低いのかを確認する	

【風雨が強まった状況をイメージして危険箇所を点検する】

- 風雨が強まってからの避難は大変危険を伴います。

福田・下陰・中陰地区の指定避難場所「北中学校」は、早い段階から開設している

4	道路が冠水した状況で、河川や水路の境が分かるか	
5	避難路に極端な低地やマンホールはないか	
6	土砂災害や倒木の影響を受けないか	
7	看板などが風で飛散しないか	
8	その他、危険箇所はないか	

【経験者に過去の災害履歴を聞く】

- 一人一人が持っている情報を参加者で共有し地域の危険度を知ってもらうため

9	台風23号の時にどこまで浸水したか	
10	伊勢湾台風の時にどこまで浸水したか	
11	これまでに土砂災害があった場所	

【最後に参加者に危険が迫ったときどうするかを聞く(全員でなくてもよい)】

- 地区歩きをした結果を踏まえ、避難についてより真剣に考えてもらうため

12	*危険が迫ったときに何処に避難するか	
	①自宅の2階以上(山とは反対側)	
	②親戚(親・子)・知人宅	
	③民間宿泊施設等()	
	④その他()	
13	誰と一緒に避難するか(父母・親・子・友人など)	
14	どのタイミングで避難するか(警戒レベル1・2・3・4、その他)	

※各隣保の隣保長と自警団班長はグループ内隣保に同行してください。

※参加される方は、豊岡市の「水害・土砂災害防災マップ」を持参してください。